

平成22年11月19日  
独立行政法人日本学術振興会

## 独立行政法人日本学術振興会の会計監査人候補者の選定結果について

本件について、次のとおり報告いたします。

### 1 審査経緯

- (1) 会計監査人候補者の選定を行うため、平成22年8月23日から9月24日までの間、本法人ホームページ及び本法人掲示板において当該企画提案書の募集を行ったところ、新日本有限責任監査法人、有限責任あずさ監査法人、及び有限責任監査法人トーマツ、清和監査法人、監査法人アヴァンティアの5監査法人から応募があった。
- (2) 当該審査に際しては、5監査法人からの企画提案書に基づき、会計監査人候補者選定委員会によって「会計監査人候補者選定基準」に基づき実施された。
- (3) 当該審査結果は、次のとおりであった。

順位	企画提案書応募者
1	新日本有限責任監査法人
2	有限責任あずさ監査法人
3	有限責任監査法人トーマツ

- (4) 以上の審査結果を踏まえ、独立行政法人日本学術振興会の会計監査人候補者については、第一候補者を新日本有限責任監査法人、第二候補者を有限責任あずさ監査法人、第三候補者を有限責任監査法人トーマツと決定した。

### 2 「会計監査人候補者選定基準」

別紙のとおり

---

(問い合わせ先)  
独立行政法人日本学術振興会  
総務部主計課監査係  
(担当：赤羽根)  
電話 03-3263-5104

## 会計監査人候補者選定基準

### 1 会計監査人業務

以下の各項目の合理性、実績等について評価するものとする。

- (1) 監査方針（振興会の特性を踏まえた、監査に対する基本的な考え方等）
- (2) 具体的な監査体制及び監査内容
  - ①監査実施体制（実際に監査を行うチームの構成）
  - ②監査計画（監査実施日程）
  - ③具体的監査実施手法
- (3) 実際に監査を行うチーム全員（公認会計士等）の実務経験年数及び独立行政法人における会計監査業務の実績の有無
- (4) 監査における指導的機能に対する考え方及び振興会の監事、総務部主計課・経理課及び研究事業部基金第一課との連携体制
  - ①監査における指導・助言体制の状況、具体的方法等
  - ②振興会の監事、総務部主計課・経理課及び研究事業部基金第一課とのコミュニケーション、連携体制
  - ③監査実施にあたって振興会が準備するもの、協力する事項等（必要となる執務室等を含む。）
  - ④その他通常の会計業務に係る相談体制（財務諸表に関すること及び求めに応じて通常の会計業務に関することについて、随時、指導・助言を行うものとする。なお、毎月1回は、振興会に来会して指導・助言を行うものとする。）
- (5) 日本公認会計士協会の定める「監査に関する品質管理に関する指針」に即した品質管理体制の整備・実施状況

### 2 独立行政法人及び国立大学法人等に関与した業務の実績等

- (1) 独立行政法人、国立大学法人、特殊法人、公的機関への支援業務等実績（具体的な法人名と提供サービスの内容）
- (2) 独立行政法人会計基準等に関する知見
  - ①独立行政法人会計基準等検討会議、専門部会等への関与実績（会議等の名称及び参加者氏名）
  - ②日本公認会計士協会又は公的機関における独立行政法人会計又は国立大学法人会計制度に関連する専門部会等への関与実績（会議等の名称及び参加者氏名）

### 3 監査報酬見積費用

- (1) 執務予定日数と監査計画の整合性
- (2) 見積費用の積算の合理性
- (3) 執務日数の変更に伴う費用精算の合理的な積算方法

### 4 その他特記事項

振興会における内部統制構築の進め方とその支援について

平成 22 年 12 月 20 日  
独立行政法人日本学術振興会

## 平成 22 年度会計監査人の選任について

平成 22 年 12 月 20 日付けをもって、下記の監査法人が本法人の会計監査人に選任されましたのでお知らせします。

### 記

選任された監査法人名

新日本有限責任監査法人  
東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル